小規模多機能型居宅介護「サービス評価」　総括表

法人名	社会福祉法人　松涛会	代表者	斎藤　妙子
事業所名	小規模多機能　杜の宮	管理者	村岡　和佳

法人・事業所の特徴	利用者一人ひとりの人権を尊重し、住み慣れた地域での生活を継続することができるよう、地域住民との交流や地域活動への参加を図りつつ、利用者の心身の状況、希望及びその置かれている環境を踏まえて、通いのサービス、訪問サービス及び宿泊サービスを柔軟に組み合わせることにより、地域での暮らしを支援します。

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	3人	人	1人	1人	人	2人	人	8人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A．事業所自己評価の確認	家族等の了解を得て、本人に関係する方や施設・民生委員・薬局・病院や地域包括センター・相談員・ケアマネジャー等から本人の情報を頂く。	・個人情報を聞き出す事は難しい事で、職員間で共有する事は大切と思う。 ・課題の発見やサービスの定着に向けての支援等、配慮すべき点が多いと思いますが、情報収集・情報共有でフォローしていると感じた。	具体的な良い改善計画が策定されていると感じた。	・申し送り簿を見て当日の状況や状態が分かったら閲覧印を押す。 ・介護記録や伝達簿へ記入する際は、状況や状態が分かりにくい場面が見受けられるので、専門用語や略語を避け5W1H(誰が・いつ・どこで・何を・何故・どのように)を活用して記入する。
B．事業所のしつらえ・環境	・安岡自治会の1日喫茶で事業所紹介をする機会を頂く。(10分程度) ・差し障りのないパンフレットを自治会の回覧に入れさせて頂く。	コロナ禍で自治会の1日喫茶が中止となった為、事業所紹介が出来なかった。	・自治会の1日喫茶で事業所紹介して下さい。 ・パンフレットの回覧して下さい。 ・回覧に関しては毎月入れている福祉関係の事業所もあります。	・差し障りのないパンフレットを自治会の回覧に入れさせて頂く。 ・安岡自治会の一日喫茶で事業所紹介をする機会を頂く。(10分程度) ・事業所のホームページを毎月1回は更新する。 　行事や日常の取り組みを見て、見学や申し込みの材料になるようにする。
C．事業所と地域のかかわり	・小学校や地域・子供会との交流を継続する。 ・安岡自治会の1日喫茶で事業所紹介をする機会を頂く。(10分程度) ・差し障りのないパンフレットを自治会の回覧に入れさせて頂く。	№0　自治会行事等の中止はコロナ禍において仕方なく、計画が遂行できなかったのは残念。 №2　自治会内において知名度が低いと判断されるなら、回覧板の利用や説明会を開催するなどしては如何でしょう。	・自治会在住者への介護に関わる情報提供は、大切な事だと思う。 ・地域清掃(年2回・安岡八幡宮清掃)への参加、福祉委員会(10月)に参加している。	・差し障りのないパンフレットを自治会の回覧に入れさせて頂く。 ・安岡自治会の一日喫茶で事業所紹介をする機会を頂く。(10分程度) ・事業所のホームページを毎月1回は更新する。 　行事や日常の取り組みを見て、見学や申し込みの材料になるようにする。
D．地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	外出行事の日は人員体制を整えて事前に希望を確認し、ドライヴ・外食に個別対応(1回に２～３人程度)で計画する。 外出行事に参加希望のない方には、収集した写真を活用した回想法や情景が浮かぶように雰囲気つくりをする。(会話やレクリエーション)	№0・3　コロナ終息後に実施出来たら良いですね。コロナ禍における色々な制限は仕方ない部分のある一方で、利用者や家族にも何かしらの不安を含めた負担を掛けているでしょうから工夫が必要ですね。	コロナ禍で外出行事が難しい中、地域の写真を使用して回想法に用いる等工夫されていると思う。	・独居や家族が本人の近隣に居ない方で電話が出来る方には1ヶ月の内に少なくとも1回、本人と家族で話す時間を作る。 ・登録者全員の家族に職員から手紙と事業所での日常を撮影した写真を送る。
E．運営推進会議を活かした取組み	令和元年度に外部研修へ参加してない職員を対象に、2人以上参加出来る様に管理者が年度初めに計画を立てる。(参加可能な人員体制が取れれば随時参加を促す)	№1・3　「職員の意見」「利用者・家族の意見」「地域の意見」を反映させた運営が「できている」と認識している職員が多く、望ましい状況にあると思う。引き続き、それぞれの意見を運営に反映させて頂きたい。	・地域や事業所の行事もそれぞれ知ることが出来て、分かりやすい。 ・事業所が地域に根付いてきていると感じている。	・当日出勤してない職員にも状況が伝わるように伝達簿へ詳しく記入する。 ・事業所内研修で「介護記録の書き方について」学ぶ。 ・外部研修に積極的に参加する。
F．事業所の防災・災害対策	・事業所の避難訓練や、地域の防災訓練に相互で参加し協働体制が図れるように努める。	№1・3　事業所の避難訓練に参加したり、地域の防災訓練に参加している。 №4　事業所の立地条件や設備においては安心感がある。	・職員連絡網の中に、主だった地域の方の連絡先を記載しています。 ・案山子コンクールの表彰式(1月下旬)に自治会の炊き出し訓練を兼ねて行います。 ・災害発生時の避難場所や有事の際には助けて下さい。反対の立場だったら協力します。	事業所の避難訓練に地域住民に参加して頂く。事業所は地域の防災訓練に参加し相互で協働体制が図れるように努める。